



Nippon Asia Baseball Friends
CLUB LALIGURANS
Since 1999

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス 会報誌

ラリグラス通信

2022年度号 2022年12月25日発行



Nippon Asia Baseball Friends
CLUB LALIGURANS
Since 1999

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



Shreeja South Asian Spice Mart
シリザ南アジアスパイス mart 弁天町
070-8432-3181 090-8075-4089

アジアをつなぐ協働の送りバント

事務所移転

シリザ南アジアスパイススマート弁天町 ご紹介



当団は本年6月に事務所を大阪市城東区の京橋からベイエリアの港区弁天町に移転いたしました。

新しい事務所はJRと地下鉄の弁天町駅から徒歩1、2分、南アジアの食品などを取り扱う「シリザ南アジアスパイススマート弁天町」の2階にございます。

まず、今号の最初では、1階にあるシリザ南アジアスパイススマート弁天町や新事務所周辺の様子などをご紹介します。



店主のご紹介

シリザ南アジアスパイススマート弁天町は2021年の9月に開店しました。店を切り盛りしているのは、当団の理事でもあるネパール出身のアルジュン・シュレスタさんと奥様です。



売れ筋商品



山羊肉



水牛肉

肉類

お店で最も売れているのが肉類です。特に羊、山羊、水牛といった日本のスーパーやデパートではあまり売っていない肉が人気です。

ヒツジは例えば煮込み料理、水牛はモモ（ネパール式餃子）などにも使われます。

インスタントラーメン



ネパールのインスタントラーメンで一番人気の「ワイワイ」。

スープ麺としても食べますが、お湯で戻さずにそのままスナック菓子のように食べる人も多いです。

香辛料

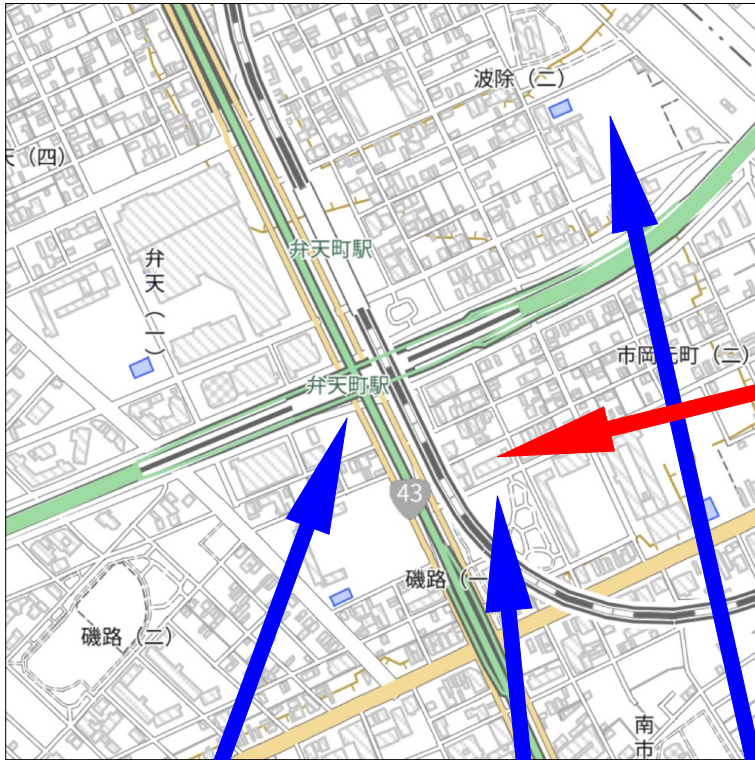
様々な香辛料を粉状にして混ぜ合わせたマサラ。南アジアでは味付けの基本となっていて、料理に合わせて様々なマサラがあります。



この他にも、豆類、お菓子、スイーツ、飲料など、一般のスーパーやデパートでは手に入りにくい食品を販売しています。

新事務所周辺

新しい事務所は大阪市港区の市岡元町にあります。ここでは、事務所の周辺の様子をご紹介します。



事務所前の通り

事務所前の通りです。事務所の隣は「姫路おでん百一」と「ダイニング&バル廉家」さん。その他、通り沿いにはパキスタン料理店やラーメン屋さんなどがあります。



最寄り駅

事務所の最寄り駅はJRと大阪メトロの弁天町駅です。

駅からはショッピングモールやホテルが入っている大阪ベイタワーが高架で直結しています。2025年の大阪万博に向けて大規模な改装が行われる予定です。



大阪府立港高校

昨年、創立110年を迎えた大阪の府立高校です。

当国会長の小林洋平はこの高校の卒業生です。



市岡元町公園

事務所から徒歩30秒の場所には市岡元町公園があります。

園内にはグラウンドも併設されていて、休日には地元の少年野球チームも練習を行っています。



事務所移転



Arjun Shrestha
アルジュン・シュレスタさん

- ・ネパール・タナフン郡出身
- ・当団理事
- ・弁天町フットボールクラブ代表者

アルジュン・シュレスタさんにインタビュー

新事務所が入っているシリザ南アジアスパイススマート弁天町を運営しているアルジュン・シュレスタさんにお店に対する思いなどをお聞きしましたので、ご紹介します。

日本に来たきっかけは？

私が日本に来たのは、2007年のことです。元々ホテルの勉強をしたいと思っていましたが、日本に住んでいた兄の勧めもあり、日本に留学することにしました。

日本では、三重県で2年間日本語学校に通い、その後、大阪でホテルの専門学校に行きました。今は、ホテルで働きながら、お店の仕事をしています。

なぜ、お店をやろうと思ったのですか？

今、日本には多くの南アジアや東南アジアの人たちが住んでいます。その人たちは母国の料理を作りたいと思って一般のお店では材料を手に入れることは難しいです。私も日本に住んでみて、そう感じました。それで、近くにこういう店が必要だと思い、自分でやってみようと思いました。

どんなお客さんが多いですか？

ネパール人が多いですが、インド、パキスタン、スリランカの人もよく来ます。4分の1ぐらいは日本人のお客さんで、自分でカレーを作る材料を買っていきます。お客さんたちからは、自分で料理を作るための材料を近所で手に入れることができていると喜ばれています。

ラリグラスの活動について

イッソーさんや他のネパール人から聞いていて、以前から興味を持っていましたし、ネパール野球の活動に感謝していました。私は2年前に理事になりましたが、いろんな人たちと繋がりができて嬉しく思っています。今後は、フットサルの活動など、みんなの力を合わせて活動がもっと広がっていければと思います。

アルジュンさん、ある日の一日

1	6	8	19	21	1
睡眠	家事・通勤	ホテルで仕事	店	家事 育児 会議	

アルジュンさんは大阪市内のホテルで働いていて、ホテルの仕事が休みの日にお店の仕事をしたり、当団やサッカーの活動をしています。

他の当団スタッフと同様に、アルジュンさんも働きながら活動に参加しています。

弁天町フットボールクラブ主催 第2回 BFCラリグラスカップ



アルジュン・シュレスタさんは、在日ネパール人のフットサルチーム「弁天町フットボールクラブ」(BFC)の代表を務めています。

2022年9月23日、その弁天町フットボールクラブが主催した在日ネパール人のチームによるフットサル大会「第2回BFCラリグラスカップ」が開催され、全国各地から200人以上のネパール人が集まりました。大会では、参加者に野球や当団の活動を紹介するための野球体験会も開催いたしました。



在日ネパール人との連携

当団はネパール野球普及のためには在日ネパール人との連携も重要であると考えており、様々な機会を捉えて、日本に住むネパールの人たちに野球を紹介する活動を行ってきました。ネパールで人気のあるスポーツはサッカーですが、当然ながら、そうした日本に住むネパールの人々の間でもサッカーは人気のスポーツです。そんな中、上記のように在日ネパール人のチームによるフットサル大会が開催され、全国各地から200人以上のネパール人が集まりました。その中で、当団は参加者に向けて野球を紹介する機会を得て、ちょっとした野球体験会を行いました。

このような多くの在日ネパール人が集まるイベント、特にスポーツイベントは彼らとの連携を強める絶好の機会です。野球体験会では、ボールやバットを見せながら野球の概要を説明した後、実際に参加者の人たちが柔らかいボールでキャッチボールクラシック(一定時間内に何回キャッチボールができるかを競う競技)を行い、ボールを投げて捕るという野球の基本的な事を体験しました。

ほとんどの人は野球のボールに触るのが初めてかとも思われましたが、皆さん大はしゃぎでキャッチボールをしていました。大会を主催した弁天町フットボールクラブの代表であるアルジュン・シュレスタ氏は、「私たちはスポーツの力で様々な事ができれば良いと考えています。今回はフットサルの大会でしたが、野球の方も盛り上げていきたいと思います」と意気込みを語っていました。

野球が盛んな日本に来て野球に関心を持った在日ネパール人も多いですが、この野球体験会に参加したことで、私たちが進めている在日ネパール人野球チームの設立に興味を示した者もいました。

このように私たちは今後も在日ネパール人との連携を進めていきます。

ネパール人野球チーム設立構想

近年、日本に住むネパール人が増えていて、その数は昨年末で約9万7千人に達しています。ある報道によると、ネパールでは留学先として日本の人気が高く、日本での留学生数を国別に見るとネパールは中国、ベトナムに次いで3番目で他国に比べて増加が目立っているとのこと。また、特定技能の資格で日本に働きに来る者も多いです。約15年前、当団はネパールのポカラで日本語学校兼野球事務所を運営していましたが、当時から今日のように在日ネパール人の増加は予想していました。在日ネパール人はこれからも増えていくでしょうし、日本社会を支える存在ともなっています。

そのような中、当団では在日ネパール人による野球チームを創設しようという構想が浮上しています。この構想は前ページで紹介したアルジュン・シュレスタ氏やイツソー・タパ氏など当団のネパール人理事が中心となって動いています。在日ネパール人が自ら野球のために動くことで、ネパール本国の野球の持続的な発展にも繋がっていきます。現地のネパール野球ソフトボール協会とも連携を図ることで日本とネパールの架け橋となり、運営面においてもより強固にしていきたいという構想です。



現在は、現地のネパール野球ソフトボール協会の活動が停滞していることもあり、発足に向けた準備期間中です。前述のフットサル大会での野球教室もその一環で、大会に参加した在日ネパール人の皆さんにこの構想を紹介する狙いもありました。

ネパール野球の現状

2022年、ネパールではコロナ禍や国家スポーツ評議会の混乱から、野球を含めたスポーツ界全体が活動の停滞を余儀なくされました。その問題というのは、ネパールのスポーツに関する政府機関である国家スポーツ評議会（NSC）の会長が長期間にわたり空位になっているという事態です。この事態によってNSCの業務が滞り、ネパール国内に様々な影響を及ぼしました。野球に関して言えば、ネパールにおける野球の統括団体であるネパール野球ソフトボール協会（NBSA）では一昨年に役員改選選挙が行われる予定でしたが、コロナ禍で延期されていたことに加え、この問題でいまだに実施されていません。

私たちはこれまでもNBSAとともに活動を進めてきており、過去にはネパールで大地震が発生するなど活動が困難になる時もあったが、昨今のコロナ禍や上述のNSCの問題で、現在はそれ以上に厳しい状況になっています。

しかしながら、こういった問題も徐々に落ち着きつつあります。後述のWBSCやBFAの総会もそうですが、野球界ではコロナ禍で停滞していた様々な活動が再開しています。ネパールでも延期になっているネパール野球ソフトボール協会の役員選挙が早晩行われることになると思います。

様々な困難を抱える中で、新たな動きも出てきています。最近、カトマンズ近郊のバクタプルのクラブチームとスポーツアカデミーが協力してネパールでの野球普及のために様々なプログラムを進めています。特に15歳以下という伸び盛りの選手たちの育成に力を入れていて、指導者の中にはネパール代表選手もいます。また、長期的な目標として、今後、ネパール他地域にもスポーツアカデミーを作っていく計画も持っています。





ベสบル

ネパール人野球チーム 選手募集

日本初

「NPO法人日本アジア球友団ラリグラス」は、1999年に活動を開始。ネパールをはじめとしたアジア各国の人々とのスポーツ通じた国際交流活動を行っています。

お問い合わせ先



NPO法人
日本アジア球友団ラリグラス

■住所

〒552-0002

大阪市港区市岡元町3丁目11-32

シリザ南アジアスパイススマート弁天町内

■HP：<http://club-laliguranas.org>

■メール：info@club-laligurans.org

■電話：06-6648-8907



ネパール人のみなさん！
野球を始めてみませんか。

日本初となるネパール人による
野球チームを結成するため、選手
となる在日ネパール人の方々を募
集いたします。

詳しくは、左記までお問い合わせ
ください。



理事長
イツソー・タバ

私たちは1999年からネパールでの野球を通じた交流活動を行ってきました。現在、日本には10万人以上のネパール人が住んでいます。これからは、日本に住んでいるネパールの皆さんとも野球で盛りあがっていきたいと思い、ネパール人野球チームを作ることになりました。

世界野球ソフトボール連盟総会

去る7月3日から5日にわたり世界野球ソフトボール連盟(WBSC)およびアジア野球連盟(BFA)の総会が台北で行われました。総会は2年に1度行われ、本来であれば昨年開催される予定でしたが、コロナ禍により今年に延期されていました。総会にはネパールからネパール野球ソフトボール協会のディパック・ネウパネ事務局長(写真)およびビベック・スベディー氏が参加いたしました。



WBSCの総会では7月5日に役員選挙も行われ、会長にリカルド・フラッカリ氏が再選されたほか、副会長には中華台北野球協会会長の辜仲諒(ジェフリー・クー・ジュニア)氏が新たに選任されました。また、WBSCの総会に先立って7月3日には、アジア野球連盟の総会でも役員選挙が行われ、辜仲諒氏が新たに会長に選出されました。更に副会長には全日本野球協会会長の山中正竹氏が再任されるとともにパキスタン野球連盟のアリ・シャー氏が新たに副会長に選任されました。アリ・シャー氏は、当団が東京で開催した「南アジア交流野球教室」にも参加されたことがある人物でもあります(写真下右)。

辜仲諒氏はWBSC副会長就任にあたり「世界でのWBSCの役割は不可欠である。今後、野球やソフトボールが世界に普及することで、諦めない精神と精進する精神を広め、スポーツを通じた社会の融合を促進し、民族紛争を無くし、より公正で健康的で平和な環境作りに貢献したい」と述べました。辜仲諒氏の言葉は「スポーツの力」に言及したものとして捉えることもできます。私たちもこれまで野球というスポーツの力でネパールとの交流やネパールのより良い社会づくりに貢献できればとの思いで活動を続けてきたので、辜仲諒氏の言葉には大いに共感できる場所があります。



侍ジャパン 公式ウェブサイト

コラム「ヒマラヤを北に臨む国、ネパールの野球」

執筆中



ベースボール5

2021年は東京オリンピックが開催され、当団GMのスジワ・ウィジャヤナーヤカ氏がオリンピック組織委員会のメンバーとして大会運営に携わりました。野球は再びオリンピックから除外されますが、世界野球ソフトボール連盟では野球普及のためにベースボール5という新競技の普及を推進しており、当団も今後はこの競技への取り組みも進めてまいります。

ベースボール5とは？

「ベースボール5」または「B5」は、従来の野球・ソフトボールのアーバン型。基本的ルールなルールは野球・ソフトボールと同じで、若い人を対象としたスピーディでダイナミックなスポーツです。「Baseball5」はゴムボールさえあればどこでも楽しむことができます。

野球を原型として考案されたスポーツで、2018年に世界野球ソフトボール連盟によって考案されました。WBSCからは、野球・ソフトボールに次ぐ第3の競技として認定されています。ゴムボールさえあればどこでもプレーできるのが特徴で、フィールドも野球・ソフトボールと比べてコンパクト化されています。

WBSCベースボール5 ワールドカップ2022

2022年11月7日から12日まで6日間にわたり、メキシコシティで「WBSCベースボール5ワールドカップ2022」が開催されました。この大会はベースボール5の初めてのワールドカップで、大会にはマレーシアで行われたアジア予選を勝ち抜いた日本など世界各地から12か国が出場しました。大会結果は、キューバが優勝、日本が準優勝で幕を閉じました。

また、大会の技術役員として前述の当団GMスジワ・ウィジャヤナーヤカ氏も大会に参加いたしました。技術役員は10か国から選ばれていますが、アジアから選ばれたのはスジワ氏のみです。ベースボール5の国際大会は今後も予定されていて、来年は第1回ユースワールドカップ、2024年には第2回のワールドカップが開催される予定です。



リカルド・フラッカリWBSC会長と



ベースボール5 アジアカップ

ワールドカップに先立ち、8月17日から19日まで、マレーシアで「第1回WBSC-ASIA Baseball 5 Asia Cup 2022」が開催されました。この大会はアジアとしては初めて開催された大会で、9か国が出場いたしました。また、当団GMのスジワ氏も副大会長として大会に参加いたしました。

結果は台湾が優勝。2位日本と3位韓国を合わせた上位3か国がワールドカップへの出場権を手に入れました。



トピックス

表敬訪問

当団は、本年も様々な場所で表敬訪問を行いました。ここで、その一部をご紹介します。

2022年、日本は南西アジア各国との国交樹立など数多くの周年を迎えました。その中で、スリランカとは国交樹立70周年に当たることから、当団では7月にこれを記念した講演会の開催を計画していましたが、残念ながら、スリランカの政治的混乱により講演会は中止となってしまいました。講演会を始めとした当団の活動へのご協力をお願いするために当団役員が駐日スリランカ大使館、駐日ネパール大使館、全日本野球協会などを表敬訪問いたしました。

また、2026年には名古屋でアジア大会が開催されます。当団では、同大会で野球が正式種目となる可能性が高いことを見据え、今後名古屋での活動を展開していきたいと考えています。その第一歩として、当団役員が名古屋に赴き、名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会や開会式が行われる瑞穂競技場などを表敬訪問いたしました。



駐日ネパール大使館



駐日スリランカ大使館



パロマ瑞穂野球場

学生たちとの交流

昨今はオンラインで講演や学生たちと交流する機会が増えています。そのひとつとして、2022年2月に大分県別府市で立命館アジア太平洋大学（APU）の硬式野球部の学生らと交流する機会がありました。APUの硬式野球部はスリランカとの関係が深く、2015年からスリランカ遠征を行って現地で野球道具を寄付したり野球教室を開催したりするほか、過去にはスリランカの高校生チームを日本に招くといった交流活動を行っています。

今回は、その硬式野球部の学生からネパールに対する野球道具の寄付の申し出があり、別府市民球場・稲尾和久記念館でその引き渡しを行ったほか、互いに活動を紹介し合うといった交流を行いました。当日はAPUの卒業生で国際審判員でもあるスリランカ出身のスジューワ・ウィジャヤナーヤカ氏らも同席し学生との交流に加わりました。



それぞれ関係の深い国は異なりますが、野球を通じた国際交流という点では同じであり、お互いに協力してアジアの野球発展に貢献できれば嬉いです。そして、今後も様々な機会を捉えてこのような人々と繋がりを持ち、寄付された野球道具を現地に届けることで活動の輪を広げていきたいと思います。しかし、野球道具を現地に届けることが目的ではなく目標達成のための一つの手段でしかありません。重要なのは、これらを活かしてネパールやアジアの野球を発展させていくことです。今後も引き続き交流を続けてまいります。

鈴木理事

大阪での活動を振り返る

当団の理事を務める鈴木秀利が、この度、家庭の事情で当団の拠点である大阪を離れることになりました。鈴木氏は、これまで15年に渡り当団の活動に携わってまいりました。大阪を離れた後も引き続き事務局の任には当りますが、ここで一つの区切りとして、鈴木氏に大阪での活動を振り返ってもらいます。

■ラリグラスとの出会い

私がラリグラスの活動に参加したのは、2007年のことです。きっかけとなったのは、大阪で毎年開催されている「ワン・ワールド・フェスティバル」(OWF)です。OWFは国際交流のお祭りみたいなもので、国際交流活動をしている団体がブース出展などで自分たちの活動を紹介していて、私は観覧者のひとりとしてラリグラスのブースに立ち寄りしました。当時、ラリグラスはネパールでポカラハウスという野球事務所を兼ねた日本語学校を運営していました。私は元々野球をしていましたし、ちょうどその頃に日本語教師の勉強もしていたことから活動に興味を持ち、活動の仲間に入れてもらい、1年後のOWFでは出展者側に回っていました。



■ラリグラスでの活動



活動に参加してから2年後、2009年にラリグラスは活動開始10周年を迎えました。そして、その年に私も初めてネパールを訪れました。また、その年は現在の理事長であるイッソー・タパが初来日し、野球修行をした年でもありました。イッソーの来日に関しては、私も様々な活動を行いました。写真のポスターは、イッソーの来日後に作ったポスターですが、私がデザインしたものです。私はラリグラスで広報物のデザインをすることが多いですが、このポスターがその最初です。イッソーは2012年に関西独立リーグの06BULLSでプレーしましたが、その縁で私も同球団のスタッフとなり、本年までスタッフを続けてきました。

2011年にはネパールが南アジア野球大会に出場、ネパールとして初めての国際大会に私もネパール代表のコーチとして参加いたしました。私は中学校で野球部に入り、社会人になってからも職場の仲間と草野球をやっていました。ただし、選手としては才能があるとは言えず、スコアラーなど裏方になる事の方が多かったです。そんな人間が、野球の国際大会のグラウンドに立つことになるとは思ってもみませんでした。



その後、ネパールからの少年選手団招聘、ネパール大地震の支援活動、野球教室、野球大会などラリグラスの活動が広がっていく中で、私は主に事務方として活動に参加してきました。その活動を通して、国内外の様々な場所を訪れ、様々な人々と出会いましたし、ラリグラスに参加していなければできなかった経験は、数え上げれば切りがありません。

■最後に

野球のチームは、打つのが得意な人、守りが得意な人、足が速い人、いろんな人がそれぞれの得意な事で力を発揮することで強いチームが出来上がります。ラリグラスも同じで、長く活動を続けられたのもメンバーそれぞれが得意な事を活かし合ってきたからだと思います。野球を通じた活動ではありますが、必ずしも野球経験者である必要はありません。私も些細なきっかけからラリグラスに入り、これまで15年にわたり活動を続けてきました。私は大阪を離れ故郷の新潟から今までとは違った形で活動に参加することにはなりますが、今後も活動の発展に尽力したいと思います。

日本アジア球友団ラリグラス 会員募集

ラリグラスでは、当団の趣旨にご賛同頂き、私たちと一緒に活動して頂ける会員を随時募集しております。また、活動をご支援下さる賛助会員、法人会員も募集しております。野球が好きの方、ネパールやアジアに興味がある方、ボランティアに興味がある方、また、過去に活動に参加して現在離れてしまっている方など、ご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。それぞれのライフスタイルに合わせて、可能な範囲でご参加、お手伝い頂ければ幸いです。



◆国内運営スタッフ

事務作業、広報活動、イベントの運営などお手伝い頂ける方を募集しています。ここ数年は、コロナ禍で人が集まるイベントなどは延期されることが多い状況が続いていますが、以前は、子ども向けの野球教室、ネパール文化の紹介、イベントでの展示や講演などをおこなってまいりました。今後は定期的にネパールでの野球大会開催も予定しております。毎月1回、ミーティングをおこなっていますので、ご興味のある方は、ご連絡の上、まずはミーティングにご参加頂き、当団の雰囲気を感じて頂ければと思います。ミーティング

の会場は大阪市内ですが、WEBによるご参加も可能ですので、遠方にお住まいの方もぜひご参加ください。

◆イベントスタッフ

年に数回、日本各地でイベントを開催しております。近隣にお住まいでご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。イベント開催予定はWEBサイトやSNS等で随時お知らせしております。



◆野球道具・スポーツ用具の寄付



当団の活動に合わせて野球道具をはじめとしたスポーツ用具の寄付を募集しております。ご寄付をご検討頂ける場合は、道具の種類や数量を事前にお知らせ頂けると幸いです。状況により受け入れをお断りさせて頂いたり、一部の道具のみ受け入れさせて頂く場合もございますが、頂いたご厚意を無駄にすることなく最大限活用できるようにと考えておりますので、ご了承下さいますようお願い致します。

※現在はコロナ禍、原油高騰等の影響を受け、海外輸送が困難なため、野球道具の受け入れを一時中断しております。再開の際はWEBサイトやSNS等でお知らせ致しますので、ご協力いただくと幸いです。

◆野球・フットサル交流

当団理事も参加している在日ネパール人のフットサルチームが、練習や試合などの交流活動をおこなっております。また、奈良県の社会人硬式野球クラブチーム「Nine Force」のマネージャーやスタッフも募集しております。各活動は不定期のためご興味のある方は事前にお問合せ下さい。

異なる文化を持つ者が同じ目標の達成のために力を合わせる、という「異文化間協働」の考えのもと、私たちラリグラスの活動は始まりました。ボランティア活動、支援活動というだけではなく、関わる人たちが共に学び合うことのできる活動を目指しております。感染症や世界情勢の影響で、野球交流や海外渡航を伴うイベントの開催が困難な状況が続いていますが、たくさんの方にご協力頂き活動を続けることができます。引き続き暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事からのメッセージ 西尾 匠

- ・ 東京在住
- ・ 社会人4年目



平素より当会の活動に温かいご声援を賜り、厚くお礼申し上げます。

簡単に私の自己紹介をいたします。現在、社会人4年目としてお仕事をしながら当会の理事として活動に参画させていただいております。当会との関わりは2016年の大学生2年生の時になります。大学の在籍時から様々な活動に携わっており（主に西アジア野球大会でネパール代表チームのコーチをはじめ、東京で行った野球教室など）大学卒業後も毎月定例で実施している定例会に参加しており2019年より理事へ就任いたしました。当会の関わり方の詳しい経緯については、前「NPO法人ネパール野球ラリグラスの会」のHPに掲載されておりますのでご興味ございましたらご覧いただけますと幸いです。

さて当団の現状について、わたくし理事としての目線で皆様へ情報の共有をさせていただきます。私が活動に携わりはじめた2016年と現在では、当団の活動内容や方針を含め社会の環境も大きな変化のなかにあると考えております。2019年には前理事長である小林から現理事長であるイツソーへ新しく理事長が就任したこと。また2021年より当団の名称を「NPO法人日本アジア球友団ラリグラス」へ改めたことで当団としての、活動方針を野球やネパールに固執せず、今までの活動も大切にしながらアジア全体に目を向けたより幅広い活動を促進できるように進化いたしました。そのなかで、毎月当団のメンバーで考え試行錯誤しながら活動を企画・検討してきた1、2年となりました。

ただ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることにより今まで継続してきたイベントや講演会などの中止や延期をせざるをえない現状にあります。このような状況でも当団のなかで活動を実施できるよう定例会でメンバー同士で意見を出し、話し合っております。例えば、理事長イツソーによるネパール語教室をはじめキャッチボールクラシックへの参加などオンラインでできることなど創意工夫しながら活動を実施できつつあると考えております。

最後に振り返りとして、皆様へなかなか活動状況がお届けすることができなかった年度だったことを不本意ながら感じております。ただ、当団のイツソーをはじめネパール人のメンバーが主体となり「ネパール人野球チームの発足」や「弁天町フットボールクラブによるイベント」など当団のスローガンである「アジアをつなぐ協働の送りバント」の通り「協働」しながら来年度につながるタネを蒔くことができた年度だったと考えております。

来年度はより一層、活動の幅を広げ試行錯誤しながら進化していけるよう私含め当団一同精進して参ります。今後ともラリグラスに温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。また皆様におかれましてもお身体にはくれぐれもご自愛ください。なお、当団では下記の通り会員を募集しております。私たちとともに活動していただける皆様のご参加をお待ち申し上げます。

会員募集要項

◆会員種別・年会費

一般会員：1口	10,000円
賛助会員：1口	3,000円
法人会員：1口	50,000円

◆会費納入方法 下記の口座にお振り込みください。

郵便振替：00950-8-165088
NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

銀行振込：三菱UFJ銀行 城東支店 普通口座 0187650

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス

お振込をいただいた方は、後日、会報等を送付いたしますので、ご連絡先を当団までお知らせください



Nippon Asia Baseball Friends
CLUB LALIGURANS
Since 1999

※昨年募集いたしましたマスコットキャラクターは、現在選考中でございます。



社会人硬式野球クラブチーム

NineForce 2022年活動報告

今年1年、社会人硬式野球クラブチームNineForceを応援、サポートしていただきました方々に深く感謝申し上げます。連盟加盟4年目を迎えた我がチームですが、今シーズンも様々な出来事がありました。

<組織体制の変更>

これまで長年監督を務めていた藤森が総監督兼部長に就任しました。チーム全体を統括する点ではこれまでと変わりなく、選手登録もしているため、引続き公式戦などにも出場しています。そして、監督安田が就任し、野球面での指揮、統括し、役割分担を行いました。



<今シーズン最初の公式戦で勝利！：都市対抗野球大会奈良県予選>



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E	BB	OB	FC
奈良県予選	0	1	0	0	1	1	1	3	0	7	10	1	8	0	0
関西ハング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	12	21	2	12	1	1

新体制で迎えました今シーズン最初の公式戦である都市対抗野球大会奈良県予選では、開幕試合で始まりました。対戦相手は強打で格上の関西ハング硬式野球団でした。雨の中始まったこの試合は、先制点を許したものの、その直後に総監督藤森がサード線を鮮やかに抜く流し打ちヒットで同点に。藤森は第3打席でも右中間へのタイムリー3ベースヒット、その直後に後続打者の犠牲フライで、相手捕手のタッチをかわし得点するなど、



計17安打9得点で、強打のチームに打ち勝ち、今シーズン初勝利を飾りました。

<全国大会常連の強豪大和高田クラブと初対戦！>

翌週の相手は、奈良県ナンバー1で、クラブチームの全国大会常連の強豪大和高田クラブと初対戦しました。大和高田クラブの監督は元近鉄バファローズでも監督を務めた佐々木恭介氏。そして、プロ注目だった黒岩投手が今シーズンから大和高田クラブに移籍し、加えて2月には阪神タイガース2軍にも勝利するなど、更に強力なチームに仕上がっていました。

我がチームは52歳のナックルボーラー尾崎投手と17歳の山城捕手バッテリーで挑みました。



大和高田クラブ黒岩投手は、最速152km/h。平均145km/hのストレートに我がチームは完全に抑え込まれました。

我がチームの尾崎投手は100km/h前後のナックルボールとストレートのコンビネーションで、見逃し三振を奪うなど、初めてナックルボーラーと対戦する大和高田クラブの各選手は戸惑いを見せていました。長打は2本許しましたが、強豪相手にこちらが浮足立ってしまい、ミスで失点を重ねて、結果はコールド負けでした。ただ、その後の大和高田クラブは、圧倒的な強さで優勝を果たし、振り返ればNineForceとの試合が最も安打数、得点数が少なかった結果となりました。

強豪大学、高校卒業したばかりの若いメンバーの大和高田クラブ相手に、17歳から52歳の幅広い年齢層で向かっていったところに社会人クラブチームのおもしろさを感じました。また、全国クラスのチームと対戦できるのも貴重な経験となりました。

その後の我がチームは、公式戦で勝利することができず、結果この春の公式戦の1勝のみとなり、悔しいシーズンとなりました。しかしながら、今年も無事シーズンを終えることができました。



<マネージャー江良デビュー！>

ラリグラスのメンバーでもある江良匠がNine Forceのマネージャーとなり、デビューしました。野球経験はないものの、持ち前の社会人野球の豊富な知識を生かし、試合のスコアはお手のもの。Nine Forceの必要不可欠な存在になりました。その評判は奈良県野球連盟にも伝わり、公式戦の正式な記録員としての要請があり、今秋の奈良県知事杯では公式記録員としてもデビューしました。

野球をするだけでなく、Nine Forceの社会人野球全般への貢献はチーム発足以来、連盟加盟以前からのコンセプトであり、江良マネージャーによって、また1つNine Forceの目標が達成されたこととなります。



<女子野球出身兼次選手デビュー！>

今シーズン途中から兼次涼花選手が加入しました。兼次選手は福知山成美高校の女子硬式野球部の出身で、昨年まで投手として同高校でプレーしていました。我がチームで女性の選手登録は初めて。夏ぐらいからオープン戦で登板してきましたが、今秋の奈良県知事杯で中継ぎ投手で公式戦デビューを果たしました。

近年は女性の硬式野球人口も増え、今後は兼次選手のような加入も増えてくるかもしれません。

今後も江良マネージャー、兼次選手への応援をよろしくお願いいたします。

また、来年もNine Forceへの応援、サポートなどをよろしくお願いいたします。



【奈良県野球連盟の現状】

Nine Forceが所属する奈良県野球連盟には、我がチーム以外にも社会人クラブチームが8チーム所属しています。企業登録チームはありません。

この中でも前述しました大和高田クラブが群を抜いた強さであり、大和高田市に本社を置く大和ガスが運営サポートをしています。選手は皆、同社の社員となります。

それ以外は大きな企業がサポートするようなチームはなく、有志が集まったメンバーが組織するクラブチームとなります。奈良県は大阪府や京都府とも近いため、奈良県在住者が他府県のクラブチームに所属することも多く、実質はこれらの地域、チームを含めたメンバー獲得が課題となっています。また、逆に大阪、京都府では硬式野球ができる球場やグラウンドが少なく、加えて社会人よりチーム数の多い小中高生のボーイズ、シニアなどのチームも奈良県内の球場を求めてくるため、活動場所が確保できないなどの深刻な課題も奈良県の社会人チームは抱えています。

Nine Forceもこのような課題の克服に常に努力しております。

理事長から イッソー・タパ



1988年11月11日生 ポカラ市出身

いつもラリグラスの活動を応援していただいております。ありがとうございます。

さて、今年は事務所が弁天町に引っ越してラリグラスにとっては新しい環境での1年でした。弁天町にはネパール人がたくさん住んでいて、私も以前から住んでいました。ラリグラスの事務所が弁天町に移転したことによって、ネパール人の仲間もラリグラスにより関心を持って来ています。

そうしたネパール人の仲間たちとは、野球やフットサル以外にもいろいろな活動をしています。その中で、10月には、ネパールで大ヒットした映画「Dui Nambari」の上映会を行い、多くのお客さんに来てもらいました。また、その上映会では野球の紹介もさせていただきました。



ところで、私事ですが、私は去年の11月に結婚しました。結婚式はネパールで挙げたので、暫くは離れて暮らしていましたが、その妻も今年の6月には来日して日本での新たな生活が始まりました。実は、妻に初めて会ったのは、結婚式の1週間ほど前のことでした。日本では考えにくいかもしれませんが、ネパールではよくあることです。こういった所にも日本とネパールの文化の違いを感じています。

これからも頑張りますので、引き続きご声援をよろしくお願いいたします。



会長から 小林 洋平



1980年12月26日生 大阪市出身

本年は世界情勢の悪化など様々な困難がありました。それに伴って、現地と連動した活動が思うように進まない状況が続きました。詳しくは今号の記事をご参照いただければと存じます。また、このような状況の中でも、有り難いことに、お問い合わせやご協力のお申し出などのお声がけを頂いた方々もいました。そういった皆様とは講演会であるとかオンラインで交流することもございましたが、それ以上の連携がうまくできず、申し訳なく思っております。

私は家族や仕事を大切にしながらラリグラスの活動を行っています。親として子どもの成長を見るのは嬉しいことです。同じように、この活動が成長する姿をお見せすることが、支援者の皆様にご喜ばれることだと思います。今後も皆がともに成長できるよう、一過性のものとはならないような活動を引き続き展開してまいります。引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

